

世界遺産の 「有形・無形のシナジー」 の伝え方。

例えばこのシーン、ガイドの対象が
小学生だったら、あなたはどのように伝えますか？



世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群に関して、日頃よりガイドいただいている皆さんに向けて、今年特別に開催するワークショップです。近年、世界遺産や文化財において、建物など有形のものの価値だけではなく、そこにある「見えない価値」を伝えることも大切だと言われています。

①知る ②共有する ③活かすの3回に渡るワークショップを通して、これまでの経験を活かしながら、ガイドに新たな視点を加えてみませんか？

全3回
参加無料
要申込

① 11.6 (金) ② 11.13 (金) ③ 11.27 (金)

お申込み

11.4 (水) 締切



コチラから

時間 13:30-16:00

会場 海の道むなかた館

定員 50名

【参加条件】先着順。全3回参加できる方を優先します。

知る 1 11.6 (金) 13:30-16:00

テーマ

有形・無形のシナジーとは？ 「見えない価値」の魅力。

東京文化財研究所の石村智さんを講師に迎え、世界遺産における「有形・無形のシナジー」について学びます。建物や自然などの目に見えるものだけでなく、その場所に込められた「祈り」や「人々の営み」といった、目には見えない価値にも注目します。世界遺産の魅力を深く知り、観光客のニーズも踏まえながら、明日からのガイドがもっと面白くなる、新しい視点や伝え方について一緒に考えます。

ゲスト講師

石村 智氏

独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 無形文化遺産部 部長。
博士(文学)。専門は文化遺産学、考古学、文化人類学・民俗学、博物館学。
主な著書に『地形と歴史から探る福岡』(MdN 新書、2020年)、『海の日本史 江戸湾』(共著、洋泉社、2018年)、『よみがえる古代の港—古地形を復元する』(吉川弘文館、2017年)がある。

全3回
連続講座

共有する 2 11.13 (金) 13:30-16:00

テーマ

「見えない価値」を案内にどう組み込むか？ ストーリーづくりワーク

第1回の学びを踏まえ、境内の各スポットで「いつ建てられたか（有形）」だけでなく「どんな祈りや思いが込められているか（無形）」をどう付け足すか、参加者同士で意見交換しながらガイドのストーリーを再構築します。また、案内時間に合わせた説明文の調整や、子どもにも分かりやすい言い換えなどに役立つ新しい補助ツール（AIやCanvaなど）の便利な活用法もあわせて紹介します。



活かす 3 11.27 (金) 13:30-16:00

テーマ

新しいガイドを形にして伝える 情報の整理と実践

これまでの学びを振り返り、「有形・無形のシナジー（見えない価値）」を軸にして、普段案内している各スポットで「必ず伝えたいこと」「できれば伝えたいこと」などの優先順位を整理・共有します。また、整理した内容をもとに、それぞれの持ち味も活かしながら「新しいガイド」をグループ内で実際に発表し合い、明日からの案内に活かせる表現を深めます。

